

各位

上場会社名	株式会社 カワタ
代表者	取締役社長 湯川 直人
(コード番号	6292)
問合せ先責任者	執行役員財務経理部長 白石 亙
(TEL	06-6531-8211)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成24年5月14日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成25年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,200	305	255	40	5.64
今回修正予想(B)	7,488	498	472	167	23.69
増減額(B-A)	288	193	217	127	
増減率(%)	4.0	63.3	85.1	317.5	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成24年3月期第2四半期)	6,799	323	271	164	23.15

平成25年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	14,600	670	570	245	34.56
今回修正予想(B)	14,600	670	600	260	36.69
増減額(B-A)	0	0	30	15	
増減率(%)	0.0	0.0	5.3	6.1	
(ご参考)前期実績 (平成24年3月期)	13,459	540	460	321	45.28

平成25年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,800	△40	△40	25	3.53
今回修正予想(B)	3,595	△17	8	65	9.20
増減額(B-A)	△205	23	48	40	
増減率(%)	△5.4	—	—	160.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成24年3月期第2四半期)	3,804	13	195	180	25.52

平成25年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,200	100	105	150	21.16
今回修正予想(B)	7,200	△120	20	60	8.47
増減額(B-A)	△1,000	△220	△85	△90	
増減率(%)	△12.2	—	△81.0	△60.0	
(ご参考)前期実績 (平成24年3月期)	7,783	85	351	326	46.06

## 修正の理由

### 【連結業績】

連結の第2四半期累計実績につきましては、前年好調であったフィルム、シート等の液晶・電子部品関連の需要に一服感が出てきたものの、中国、東南アジアの需要が総じて堅調に推移したこと、中でもタイの洪水被害からの生産回復需要に着実に対応したこと等により、売上高は前回予想を288百万円上回る7,488百万円となり、営業利益も売上高の増加に伴う売上総利益の増加と諸経費の低減等により前回予想を193百万円上回る498百万円となる見込みです。更に、為替差損の減少等の営業外収支の改善により、経常利益は前回予想を217百万円上回る472百万円、四半期純利益は前回予想を127百万円上回る167百万円となる見込みです。

通期につきましては、米国、欧州、新興国とも景気減速の動きが広がっており、当社グループにおいてもタイの洪水被害からの生産回復需要もほぼ終息することより、年度後半は前半より売上および売上総利益が減少することを予想しております。売上高は前回予想通りの14,600百万円、営業利益も前回予想通りの670百万円となり、為替差損の減少等の営業外収支の改善により経常利益は前回予想を30百万円上回る600百万円、当期純利益は前回予想を15百万円上回る260百万円を見込んでおります。

### 【個別業績】

個別の第2四半期累計実績につきましては、製造業の設備投資の海外シフトが当社の想定を上回り国内での発注が減少したこと等により、売上高は前回予想を205百万円下回る3,595百万円となりましたが、人件費の抑制等の経費圧縮効果により、営業損失は前回予想より23百万円改善して17百万円の損失となる見込みです。更に、連結子会社からの受取配当金の増加等により、経常利益は8百万円(前回予想は40百万円の経常損失)、マレーシア生産子会社の有償減資払戻差益62百万円を特別利益に計上したこと等により、四半期純利益は前回予想を40百万円上回る65百万円となる見込みです。

通期につきましては、製造業の設備投資の海外シフト傾向に加え、世界経済の減速による企業業況判断の悪化に伴う設備投資の手控え等も予想されることより、売上高は前回予想を1,000百万円下回る7,200百万円となり、売上高の減少に伴う売上総利益の減少等により120百万円の営業損失(前回予想は100百万円の営業利益)となる見込みです。営業外収支は連結子会社からの受取配当金等により改善するものの、経常利益は前回予想を85百万円下回る20百万円、当期純利益は前回予想を90百万円下回る60百万円を見込んでおります。

以上